

シマアジ（カモ科） 全長 38 センチ

大浦沼には数年に1度くらいしか飛来しない、珍しいシマアジが見つかった。

美味しそうな名前であるが、魚ではありません。日本には主に旅鳥として渡来するが、個体数は少ないようです。コガモと同じ大きさしかない小形の淡水カモ類で、群れの中に混じっていると見過ごしてしまう場合があります。



手前のオスは、明瞭な白い眉斑があるので区別できます。

オスは明瞭な白い尾斑があり、他のカモ類と区別できます。

群れから離れた2羽の片方が、まぎれもなくオスのシマアジと分かりました。メスは地味な色合いであり、他のカモのメスとよく似ているので即座に断定はできませんが、同行動をとっていたことからシマアジのメスと思われます。

岸辺の枯れた水草の中に入り込み、じっと動きません。こうなると体の模様が保護色のようになり、一旦目をそらすと何処にいるのか分からなくなりました。



コガモより僅かに小さいが、存在感あり。

春の4月頃と秋の8～9月頃に観察されることが多いと言われるが、数も少ないことから見過ごしてしまうことが多いようです。



後頭部もなかなか。



枯れた水草の中に紛れ込むと、何処にいるのか分かりません。